

日・赤・さいたま



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

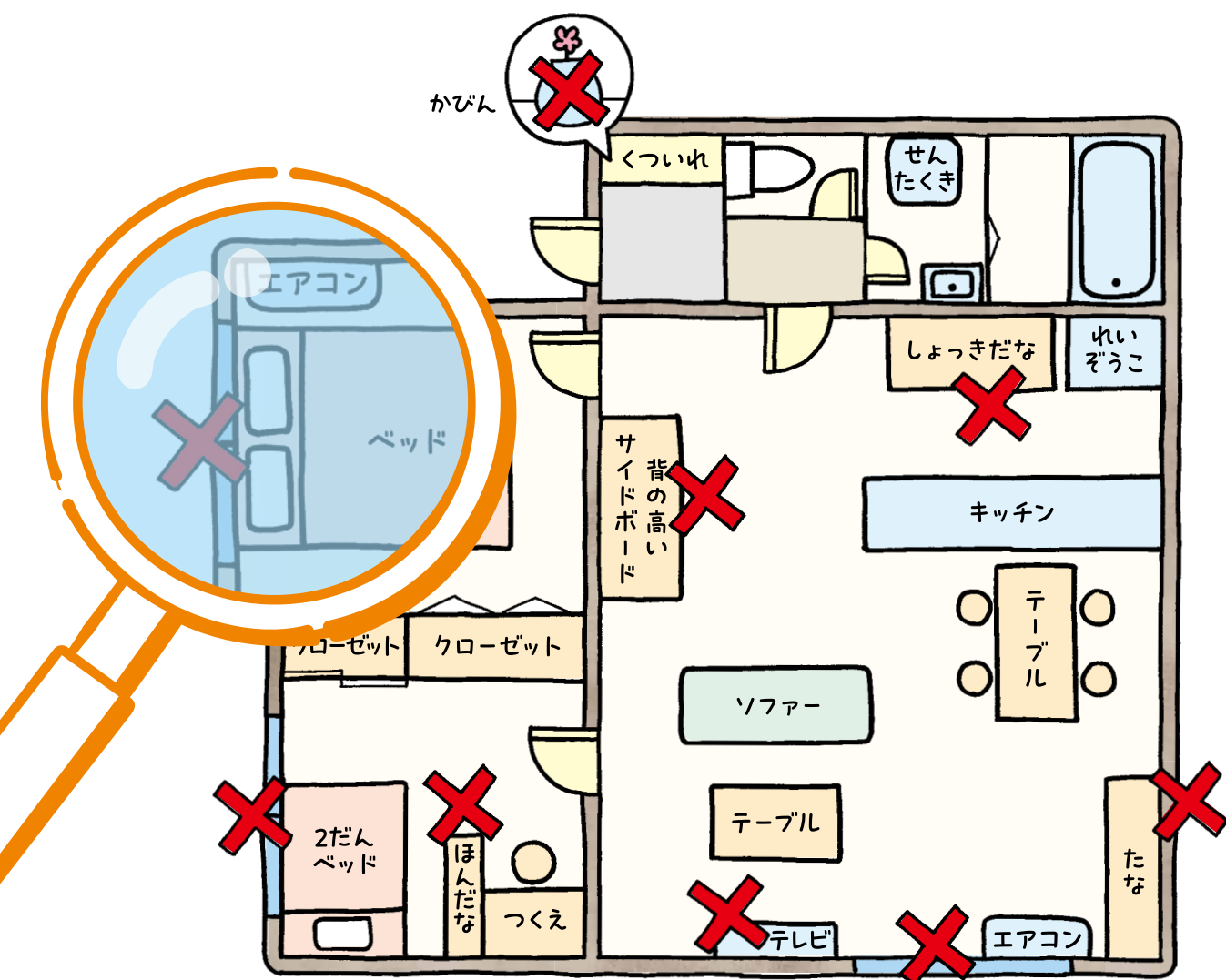
埼玉県支部

2024 秋

vol. 154

【特集】 自宅の“備え”できていますか？

赤十字防災セミナーの新カリキュラム



阪神・淡路大震災から30年

ACTION! 防災・減災 一命のために今うごくー

自宅の“備え”できていますか？



2025(令和7)年1月17日で「阪神・淡路大震災」から30年になります。6,400人以上の尊い命が失われた大災害。負傷者も約43,800人にのぼり、その多くは家具類の下敷きやガラスの落下によるものでした。自分と大切な人を守るため、身近な場所の点検をしてみませんか？

背景画像:東日本大震災発生直後、宮城県仙台市で撮影(宮城県支部撮影)

なぜ対策が必要なの？

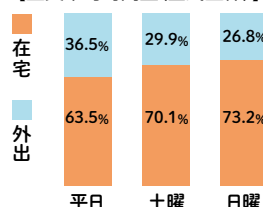
2003～2016年に発生した震度6弱以上の地震でケガをした原因を調べると、約30～50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。震度6弱以上の地震では、立っていることが困難になり、固定していない家具の大半が移動したり倒れたり、窓ガラスが割れることなどがあります。また、転倒・落下した家具類が電源スイッチを押してしまい、火災が発生することもあります。

右のグラフのとおり、家で過ごす時間の多くが睡眠時間。阪神・淡路大震災のように睡眠中のいわば「無防備な状態」で災害が発生してしまうことを考える必要があるのです。いつ、どこで起こるかかわからない大地震に備え、日ごろの対策が求められます。

*東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック 令和4年度版」より

家にいる時間は？

【全員平均時間量(国民全体)】



1週間平均

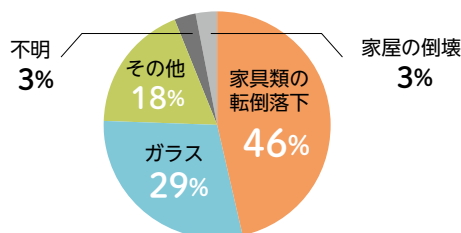
在宅 約16時間 / 24時間

うち・・・

睡眠 約7時間 / 24時間

NHK放送文化研究所「国民生活時間調査(2015)」を加工して作成

地震によるケガの原因は？



出典:「阪神淡路大震災住宅内部被害調査報告書」日本建築学会

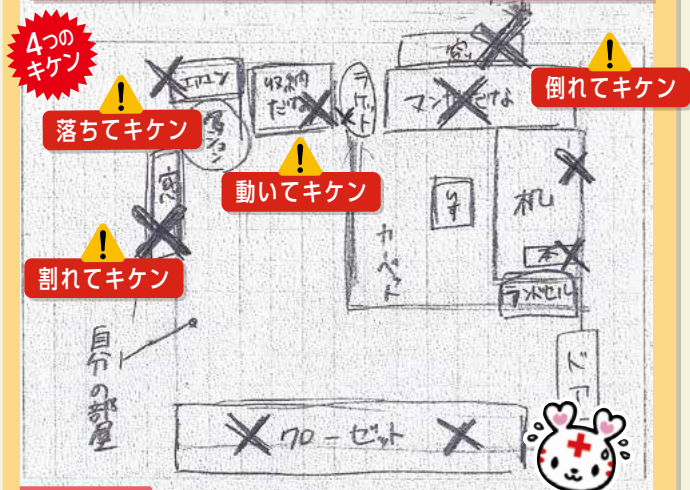


対策の基本は“気づく”こと！

おうちの中のキケンを見つけよう！

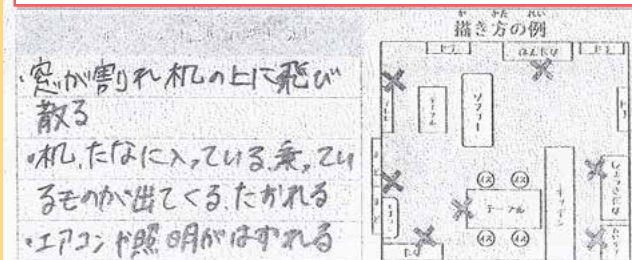
ステップ1

おうちの中の部屋を一か所描いてみよう！



ステップ2

大地震のとき、キケンな場所に×をつけよう！



小学6年生が描いたワークシート

新カリキュラム！

KAG (家具安全対策ゲーム)

家具の配置で危険な箇所を把握して、地震発生時に自分や家族の命を守るためにはどういった対策が必要か、ゲーム形式で学ぶものです。

1 自宅の平面図を描いてみる

家の間取り図を描き出してみましょう。そして、家具や家電をできるだけ詳しく描き込んでいきます。ポイントは「窓」と「出口」を忘れずに描いておくことです。

2 危険な箇所・家具に×印をつける

地震が起きたときに「そこにあるものがどうなるか？」をイメージして、危険だと思う箇所や家具類の上に×印を描き込みます。「想像力」を発揮して4つのキケンを見つけます！

3 実際に危険な箇所への安全対策を施す



転倒する家具	固定する。向きを変える。重いものは下に収納する。
落下する・割れる家具	固定する。ガラス飛散防止フィルムを貼る。
避難経路の確保	出入口・廊下にモノを置かない。(一例)

埼玉県支部 防災の取り組み

防災セミナーや各種講習会では、講義とワーク、それにご希望に応じて実技を含めた講座を実施！
大人・子どもそれぞれに向けたプログラムもご用意しています！

川越市

市立霞ヶ関西小学校

防災セミナーと救急法のMIX講座

～地震への対策と発災後にできることを考える～



voice



自分の家に何ヶ所危険が隠れているか見てみる。
ちゃんと防災対策がされているかも確認したい！

自分の部屋の机や棚の上を片付けたり、
ポスターの額のつけ方を見直したい。



さいたま市 ほか

埼玉県庁

災害に備えて止血に特化した講習会

～県職員・今年度 20回600人の受講を計画～



voice

職場にも「救急セット」は備えていますが、
実際に封を切って触れることはありませんでした。
今回、本物のガーゼや三角巾、また
身近なものを使って繰り返し体験できたこと
ですごく勉強になりました。



埼玉県
農林部の職員

YouTube Works Awards Japan 2023
Force for Good部門賞受賞

動画「おうちの中のモンスター」公開中！



あなたはきっと気づいていない。
あなたの家に潜むモンスターのことを。
絶対にいるよ。あなたのうちにも。
#おうちの中のモンスター
大切な家族を災害から守るために。
ぜひご覧ください！

こんな
活動も！

Message



一緒に 学んでみませんか？

事業部 青少年・ボランティア課
戸村 吉希

「ともに学ぶ」をモットーに、少しでも災害を自分事として
捉えてもらいたいとの思いで県内各地でセミナーを実施して
います。参加者からの情報を元に新たな防災グッズを揃え
たりもしています。

「とても勉強になった」などの声をかけていただくと励みに
なりますし、より多くの方に体験いただきたいと思います。
ぜひ、お気軽にお問い合わせください！

まずはお問い合わせを！

セミナー実施・
出前授業について

048-789-7117
(青少年・ボランティア課)



地域で、学校（子ども・教員・PTAなど）で、企業・団体で…実施増えています！

上尾市



自主避難所に救援物資を搬送！

8月29日、台風第10号の影響で県内
は大雨に。自主避難所が開設された
同地区から物資の要請があり、安眠
セットや毛布などをお届けしました。

寄居町



水の事故防止を啓発！

8月11日、親子で賑わう荒川の河川
敷で県警とともにキャンペーンを
実施。50人を超える親子にライフ
ジャケットの重要性をお伝えしました。

加須市



子どもたちと炊き出し訓練！

加須市赤十字奉仕団が地元の小中
学生と炊き出しを実施。炊飯袋を
使ってご飯と野菜カレーを調理しな
がら防災の大切さをお伝えしました。

皆野町



災害対応力を強化！

新たに任命した救護員の宿泊型研修
を実施。被災地での活動経験豊富な
指導者のもと、赤十字病院と支部の
職員がスキルを身につけました。

連携の輪が広がっています！



浦和レッドダイヤモンズ株式会社

「スポーツを通じて豊かな地域社会を創る」という浦和レッズの理念と、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命とする当支部との結びつきを更に深め、「健康に暮らせる豊かな地域社会づくり」に貢献するため、連携協定を締結しました。これまでも献血の推進や講習普及でご協力いただいていたが、さらに活動の幅を広げます。

昨今、自然災害が頻発しています。今回の協定締結により、地域の防災や救護への意識・知識を高め「災害に強い埼玉県」を共に目指して行きたいと考えています。レッズとレッドクロス、“赤い絆”をさらに深めていきます！



浦和レッドダイヤモンズ株式会社
ホームタウン本部
課長 森 俊之 様



埼玉司法書士会

「終活」という言葉を多く耳にするようになりました。当支部にも遺贈や相続での寄付の相談が寄せられていますが、多くの方が法律専門家のサポートを必要としています。当支部は、同会と連携協定を締結。毎年、「遺言・相続セミナー」を開催しているほか、日赤に思いを託したいという方が希望する場合には、同会と連携して手続きをお手伝いします。

司法書士は市民の身近な法律専門職として幅広い業務に当たっています。相続・遺言に関するお悩みがあっても、専門的な理解が不十分なため、遺言作成に至らないケースもあります。そうしたご相談には、司法書士がお力になります！



埼玉司法書士会
司法書士
山田 美穂 様

📺 PRESENT プレゼント



日本赤十字看護大学 さいたま看護学部（さいたま市中央区）

さいたま赤十字病院とさいたま赤十字看護専門学校の跡地に位置する同学部。2020年に開設され、現在は354名の学生が学んでいます。

高度医療の担い手はもとより、「コミュニティケア＝地域に根ざした看護」を担える看護職を育成する同学部。赤十字の理念に基づき、幅広い教養と豊かな人間性のある人材を育てることを目指しています。赤十字のネットワークを生かし、災害看護や国際看護教育にも力を入れています。2024（令和6）年3月に第一期生が卒業し、その多くが各地の赤十字病院へ就職しています。



ホームページ



プレゼント応募方法

メール・はがき・FAXでご応募ください。

応募締切 **令和7年2月14日(金) 必着**

当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報は、プレゼントの発送およびご連絡にのみ使用いたします。お寄せいただいたご意見・ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえ、当支部が行う広報活動に活用させていただく場合があります。応募にかかる通信料はご負担ください。

応募にあたって

以下の項目を明記のうえご応募ください。

- ①お名前
- ②郵便番号・ご住所
- ③電話番号
- ④年齢
- ⑤メールアドレス
- ⑥本紙入手場所(例/献血ルーム)
- ⑦ご感想
- ⑧ご要望(取り上げてほしいテーマなど)

※メールの際は、件名に「日赤さいたまプレゼント応募」とご記載ください。

応募先

〒330-0064
埼玉県さいたま市
浦和区岸町3-17-1
日本赤十字社 埼玉県支部
日赤さいたま担当あて
FAX:048-834-1520
Mail:koho@saitama.jrc.or.jp

いろいろな形での寄付方法のご案内

遺贈・相続財産寄付

故人の「財産を社会のために役立てたい」という思いを、災害などで苦しむ人々を救う活動に繋げます。(税制上の優遇措置があります)



赤十字支援型自動販売機

飲料メーカーの売り上げの一部が赤十字の活動資金になります。



クレジットカードや金融機関の口座振替で寄付

毎年もしくは毎月手軽に、ご寄付いただけます。

